

平成30年度 第1回麻溝地区まちづくり会議 結果

日 時 平成30年5月16日(水)
午後7時30分から8時55分まで
場 所 麻溝公民館大会議室
出席者 21名(欠席6名)
傍聴者 2名

1 あいさつ

麻溝地区まちづくり会議石井会長の開会のあいさつの後、来賓として出席いただいた佐藤南区長、阿部副区長より、ごあいさつをいただいた。

また、新年度第1回の会議で委員の変更もあったため、各委員の自己紹介を行った。

議題からは次第に従い、会長により議事進行が行われた。

2 議 題

(1) 会則の改定について

事務局より、会則の改定の理由を説明し、協議の結果承認された。

(改正の理由)

麻溝まちづくり会議の専門部会として設置する「麻溝地区コミュニティバス導入検討委員会」にまちづくり会議委員以外の自治会長に専門部会委員として参加していただくため。

・麻溝地区まちづくり会議会則

| 改正前 | 改正後 |
|--|---|
| (専門部会の設置) 第12条 全体会が必要と認めたときに、専門部会を設置することができる。 | (専門部会の設置) 第12条 全体会が必要と認めたときに、専門部会を設置することができる。 2 専門部会は、委員をもって構成する。ただし、会長が必要と認めた場合は、委員以外の者を部会員とすることができる。 |
| - | 附 則 この会則は、平成30年4月1日から施行する。 |

(主な意見等)

- ・意見なし

(2) 平成30年度麻溝地区まちづくり会議の進め方について

- ・平成29年度会議概要について
- ・平成30年度スケジュールについて
- ・平成30度キャッチフレーズに基づく検討内容について

事務局より、平成29年度に行われた麻溝地区まちづくり会議及びまちづくり懇談会の議題等の概要について説明を行った。また、前年度第6回のまちづくり会議にて決定した平成30

年度の麻溝地区のまちづくりのキャッチフレーズである「歴史と自然と地域の和 未来につなごう “いいまちあさみぞ”」を改めて確認するとともに、キャッチフレーズの取組項目ごとに、これまでの麻溝地区内での状況について説明を行った。

なお、各委員には、10月4日のまちづくり懇談会を含めた平成30年度会議日程を予定していただくよう依頼した。

(主な意見等)

- ・意見なし

(3) 地域活性化事業交付金について

・平成29年度交付決定事業について

事務局より、麻溝地区の平成29年度に交付した事業について説明を行い、全10事業で、合計185万2千円を交付し交付金が有効に活用された旨の説明を行った。

また、平成29年度の予算が65万円程度執行残となったため、今年度の交付金の活用について各団体での活用をお願いするとともに、定期的に執行状況等についてもまちづくり会議で報告することとした。

・平成30年度地域活性化事業交付金申請事業募集要領について

事務局より、平成30年度地域活性化事業交付金の申請について説明を行い、各団体において交付金活用の検討を依頼した。

・地域活性化事業交付金の申請について

事務局より、平成30年度の交付金の申請のあった3件の事業について、申請の内容の説明及び交付の承認について協議を行った。

協議の結果、いずれの事業についても、進めるべき事業として承認された。

なお、「第5回相模川鮎友釣り大会」については、5年目であるが、継続事業としての実績を評価して、10分の10の支給割合とすることも承認された。

麻溝公民館を語ろう「地域住民による公民館での事業・活動記録事業」

麻溝まちづくりセンター・公民館新館における共同作品プロジェクト

「麻溝まちづくりセンター・公民館新館における共同作品プロジェクト推進事業」

相模川鮎友釣り大会実行委員会「第5回相模川鮎友釣り大会」

(主な意見等)

- ・意見なし

(4) 平成30年度まちづくり懇談会について

事務局より、10月4日(木)に予定されている麻溝地区まちづくり懇談会における懇談テーマの募集について説明を行った。

7月のまちづくり会議にて、提出された懇談テーマ等を元に協議を行い、テーマを決定する。

懇談テーマのある団体については、テーマ提案書にて、6月29日(金)までに事務局へ提出を願いたい。

(主な意見等)

- ・意見なし

(5) 麻溝地区コミュニティバス導入検討委員会の設置について

事務局より、設置要綱及び委員について説明し、協議の結果承認された。

(主な意見等)

- ・コミュニティバス導入の検討だけではなく、他の方策についても検討をお願いしたい。
コミュニティバス導入の検討状況により、他の方策も含めて検討していく。

(6) (仮称) 麻溝まちづくりセンター・公民館の新館開所式典実行委員会委員の推薦について

麻溝まちづくりセンター・公民館の新館開所式典実行委員会を組織するため、まちづくり会議の委員から5名の選出をお願いしたい、委員となっていただけか、この会議の中で判断が難しいようであれば、後日事務局まで連絡をお願いしたい。

委員となっていただけの方は、5月31日までに事務局まで連絡することとなった。

(7) 次期総合計画及び都市計画マスタープラン策定に向けた地区のまちづくりに係る意見交換について

企画政策課及び都市計画課の担当者より、資料に基づき説明、質疑の後、各グループで意見交換を行った。

(主な質疑等)

- ・特になし

(主なグループ討議の内容)

A班

【地区の良くなったところ】

相模原愛川インターチェンジ開通により道路整備ができた。

当麻地区河川敷が拡張した。

麻溝公園前交番が設置された。

麻溝小学校校舎が完成した。

ゴミ集積カゴ(折りたたみ式)の設置。

【地区の悪くなったところ】

交通渋滞が発生している。

B班

【地区の良くなったところ】

相模原愛川インターチェンジの開通により遠出がしやすくなった。

高齢者対策が充実してきた。(健康プロジェクト、AMFK(麻溝地区の未来の福祉を考える会))

路上駐車がなくなった。

ギオンスタジアムに夜間照明が設置された。

麻溝小学校の新校舎が完成した。

まちづくりセンター・公民館の移転整備が進んでいる。

【地区の悪くなったところ】

相模原愛川インターチェンジの開通がされたが、県道52号の改良も麻溝小学校までしか整備されていないため、大型車の増加と共に交通量が増え混雑度が増した。

相模原愛川インターチェンジが出来たことにより生活道路の渋滞が増えた。
生活道路のメンテナンスが悪い。横断歩道の白線が消えている。
治安が悪くなった。(殺傷事件の発生)

C班

【地区の良くなったところ】

相模原愛川インターチェンジの開通により利便性は良くなった。
防犯灯がLEDとなり設置が増えて良くなった。(犯罪抑止のためもっと増やしてほしい)
ギオンスタジアム
観光的には「鮎友釣り大会」に圏央道を使って遠方からの参加者が増えた。

【地区の悪くなったところ】

インターチェンジ開通による渋滞、抜け道として生活道路を通行する車両が増えた。
大正坂の下に歩道がなく危険。
地域としてもっと活性化が必要。
原当麻駅から女子美術大学をもっと利便性を上げたい。
また、原当麻駅からギオンスタジアムへの交通網整備、防犯を上げたい。
大正坂やフィッシングパークの通りに街灯を増やしてもっと明るくすべき。

D班

【地区の良くなったところ】

環境が良い。
ゴミの収集が良くなった。(折りたたみ式の収集カゴを利用するようになって)
防犯灯がLEDになり明るくなって、安全になってきた。(寿命が長くなって良い)
以前より住んでいるが、30年前と比べて今は良くなってきている。
高齢者の健康に気をつけている。

【地区の悪くなったところ】

車の交通量が多くなっている。(北里通り)
交通の便が悪くなっている。(バスの利用が不便)
店が少ない。
学童の通学路が狭い。
道路に歩道の設置が少ない。
相模大野からの自転車の交通量の増加。

3 その他

・相模原市南区区民会議委員の推薦について

南区役所区政策課より南区区民会議への委員の推薦依頼があったため麻溝地区まちづくり会議からの推薦委員について協議を行った。

推薦委員数：1人

委員任期：平成30年7月30日から平成32年7月29日まで

協議の結果、引き続き石井会長を推薦することとなった。

・各団体の情報提供・情報交換

（麻溝地区まちづくり会議：石井会長）

・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた相模原市の取組についてチラシの配布及び情報提供がされた。

（委員からの意見）原当麻駅からギオンスタジアムまでの道路等についてオリンピックに向けて改善する必要がある。

・徒歩で行く場合に街灯が少なく暗いため危険なので、街灯の増設。

・スタジアムまでのバスの運行等についても検討が必要。

（麻溝高齢者支援センター：依委員）

・「あさみぞ地域づくり部会だより」を配布し、麻溝健康プロジェクト等について情報提供を行った。

（事務局）

・会議次第に記載のある次回予定日に誤りがあったため訂正をお願いした。

（誤）平成30年6月16日（水） （正）平成30年6月20日（水）

次回予定について

・平成30年度第2回まちづくり会議

平成30年6月20日（水）時間は午後7時30分から、場所：麻溝公民館大会議室

以 上